

教科目標

こどもソーシャルワーカー科

1. 養成目的

こどもと養育者、そして自分を大切にでき、暮らしを豊かにするために想いに耳を傾け、問いを持ち続けられるこどもソーシャルワーカーになる。

2. 教育目標

- ・オリジナル科目を通して、科目を分断しない横断的な知識を身に着ける。
- ・卒業生や実践者と一緒に学び高め合い、現場で求められている役割の基盤を知ることで、こどもと養育者、他職種に信頼される関係性を築くことができる。

3. カリキュラム

教育内容	科目	総単位数 (総時間数)
教養科目	キャリアプランニング	1 (15)
学科独自科目	子どもの権利擁護 こころとからだのセルフケア 精神保健福祉 健全育成論 スクールソーシャルワーク ファミリーソーシャルワーク フォスターリングソーシャルワーク こどもソーシャルワーク演習 こどもに対する衣食住の支援 児童・思春期メンタルヘルス 社会的養護の現状と課題	15 (330)
保育関連科目	社会的養護と子ども家庭福祉 保育・教育原理 子どもの保健と医学の基礎 食と栄養 乳児保育 子育て支援 保育内容 保育内容演習 障害の理解と対応 心理と発達	16 (255)
社会福祉関連科目	ソーシャルワークの歴史 ソーシャルワーク理論とアプローチ 権利擁護と法 対象別ソーシャルワークの制度と支援 更生保護 地域福祉と地域ケア 福祉・医療の政策と制度 福祉サービスの組織と運営	14 (210)
合 計		46 (810)

4. 学年・学期目標

1年	学年目標	卒業生や実践者とともに学び合い、現場で求められている役割の基盤を知るために、科目を分断しない横断的な知識を身につける
	前期目標	保育の知識を習得し、年齢や発育、成長になったこどもの支援を具体的に学び、積極的に行動することができる。
	後期目標	演習授業で学んだ援助技術を活かし、こどもとこどもを取り巻く環境や社会の課題について考察し、こどもの権利を最優先に考え、思考を深めることができる。

5. 取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
保育士	選	厚生労働省	国家試験合格後、登録
社会福祉士	選	厚生労働省	国家試験合格後、登録

6. 就職分野

就職分野	職 種
障害（児）者福祉施設	生活支援員、生活指導員、サービス提供管理者等
児童福祉施設	児童指導員、少年指導員、家庭支援専門相談員、母子支援員等
社会福祉協議会	地域福祉専門員、相談員、
子ども家庭支援センター	相談員、母子相談員等
一時保護所	児童指導員
地方公務員	福祉職
児童相談所	児童福祉司
児童自立支援施設	児童自立支援専門員
児童発達支援センター、放課後デイサービス	児童発達支援管理責任者

2024年度 教科課程

こどもソーシャルワーカー科

1年

区分	開講科目名	English	必修 選択	授業 形態	単 位 数	時 間 数	マ オ ン デ	学期別時間数				科目概要
								前 期 前 半	前 期 後 半	後 期 前 半	後 期 後 半	
専門基礎科目	キャリアプランニング	career planning	必修	講義	1	15		15				キャリアをスタートさせるに当たってのキャリア形成と卒業後のキャリア開発に向けての意識を育み、具体的計画を立てることができる。
	子どもの権利擁護	Children's rights protection	必修	講義	1	15		15				児童福祉の根幹的理念の実践者としての自覚の涵養と基礎固めのため、子どもの権利と、子どもの権利擁護のためにどのように向き合うべきかについて確認し、理解することができる。
	社会的養護と子ども家庭福祉	Social care and child and family welfare	必修	講義	2	30	○	15	15			こども家庭福祉の意義と歴史の変遷や現状と課題について理解する。また、社会的養護施設の種類の機能、児童養護のプログラム・処遇の実際を学ぶ。
	子どもの保健と医学の基礎	Fundamentals of child health and medicine	必修	講義	2	30		15	15			子どもの疾病や適切な対応について理解し、緊急時の対応や安全管理について具体的に学び、その時の対処方法を理解することができる。
	食と栄養	food and nutrition	必修	講義	1	15	○	15				健康な生活の基本として食生活の意義や栄養に関する基礎知識を学ぶ。食育の大切さや、養育者への指導ができるための基礎を理解することができる。
	保育・教育原理	Childcare/educational principles	必修	講義	2	30	○	15	15			保育士の資質や役割、保育所の基本となるさまざまな考え方を学び、また、教育の目的、意義、方法などの基本的な原則や諸問題についての理論的基礎を深めることができる。
	乳児保育	infant childcare	必修	講義	1	15			15			3歳児未満児の発達・保育について学んだことを、実践的に考え、いくつかの具体的な行動計画を考案することができる。
	子育て支援	Child care support	必修	講義	1	15		15				保育士の専門性を背景とし、保護者に対する相談・助言・情報提供、行動見本の提示等の支援を理解し、具体的支援計画を立案することができる。
	保育内容	Childcare content	必修	講義	2	30		15			15	保育の実践において実態に応じた子ども一人ひとりの心身の発達や学びを把握することの重要性について理解し、行動することができる。
	保育内容演習	Childcare content exercises	必修	演習	1	30		15	15			乳児期・幼児期における発達・発達に応じた指導技術を実践する。学んだ知識、技術を基に、実践を通して子どもに対する支援方法を考えることができる。
	障害の理解と対応	Understanding and responding to disabilities	必修	講義	2	30		15	15			様々な障がいについて理解し、保育における発達の援助・環境構成について学ぶ。また、障がい児が地域で暮らすための様々な機関との連携法を学ぶ。
	心理と発達	psychology and development	必修	講義	2	30	○		15	15		家族、家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の視点から理解をする。子どもの心理について理解することができる。
	精神保健福祉	mental health welfare	必修	講義	1	15			15			からだ、こころ、くらしに関わる精神保健福祉の知識習得を目的とし、だれにでも起こりうる精神疾患に対する理解を深めることができる。
	ソーシャルワークの歴史	history of social work	必修	講義	1	15			15			社会福祉士の役割(総合的かつ包括的な援助及び西洋から発展した、ソーシャルワーク実践における地域福祉の基盤整備と開発を学ぶことができる。
	ソーシャルワーク理論とアプローチ	Social work theory and approach	必修	講義	4	60			30	15	15	相談援助における人と環境との相互作用に関する理論等について理解する。相談援助のそれぞれのアプローチ方法の仕組みを理解し、実践することができる。
地域福祉と地域ケア	Community welfare and community care	必修	講義	2	30	○		15	15		こどもとその取り巻く環境を中心に暮らしを全般的にアセスメントし、どのような支援やネットワークを構築すればいいのかを学ぶことができる。	

2024年度 教科課程

こどもソーシャルワーカー科

1年

区分	開講科目名	English	必修 選択	授業 形態	単位 数	時間 数	マ オ ン デ	学期別時間数				科目概要
								前期 前半	前期 後半	後期 前半	後期 後半	
	福祉・医療の政策と制度	Welfare/medical policies and systems	必修	講義	2	30				15	15	こども分野以外の社会福祉士の支援の様々な学び、具体的な支援法や制度に結びつけて考えることができる。
	対象別ソーシャルワークの制度と支援	Social work system and support by target	必修	講義	2	30			15	15	高齢、障害、低所得、地域などのそれぞれの分野の支援のポイントやアセスメントする視点を考え、建設的な連携を考え理解することができる。	
	福祉サービスの組織と運営	Organization and operation of welfare services	必修	講義	1	15				15		福祉サービスに係る組織や団体等(社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会など)について理解する。
	権利擁護と法	advocacy and law	必修	講義	1	15					15	相談援助活動と法(日本国憲法の基本原理、民法・行政法の理解を含む)との関わりや成年後見制度等について理解する。
	更生保護	rehabilitation protection	必修	講義	1	15				15		こどもの支援のうち特に非行や少年法に抵触したこどもへの相談援助活動において必要となる更生保護制度等について理解する。
専門科目	社会的養護の現状と課題	Current status and issues of social care	必修	演習	2	60				30	30	NPO法人チャイボラと連携し、社会的養護施設の現状や課題を体験によって感じ、複合的に考えることができる。専門職の話聞き、将来像のイメージをつけることができる。
	スクールソーシャルワーク	school social work	必修	講義	2	30				15	15	学校内外で起こりえる、いじめや不登校、暴力行為など児童・生徒が生活の中で抱えているさまざまな問題の解決を図るための事例を通し、解決法を考えることができる。
	ファミリーソーシャルワーク	family social work	必修	講義	1	15				15		家族、家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達視点から理解を深める。児童養護からの家庭復帰のためのアセスメントを知る。
	フォスターリングソーシャルワーク	fostering social work	必修	講義	1	15					15	里親委託措置解除後における支援に至るまでの一連の過程において、子どもにとって質の高い里親養育がなされるための過程を学ぶ。
	こどもソーシャルワーク演習	Children's social work seminar	必修	演習	4	120		30	30	30	30	相談援助の知識と技術に係る(特にこどもの支援に特化した内容や専門職連携等)社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術等について理解する。
	健全育成論	healthy upbringing theory	必修	講義	1	15	○				15	「すべての子どもの生活の保全と情緒の安定を図って、一人ひとりの個性と発達段階に応じて、全人格的に健やかに育てる」ための制度やかかわり方を学ぶ。
	こどもに対する衣食住の支援	Support for food, clothing and shelter for children	必修	講義	1	15					15	現代に生きる子ども達の衣・食・住を十分に把握し、今の社会の変化に伴う暮らしについて、質の高い支援を提供するための知識を学ぶ。
	児童・思春期メンタルヘルス	Child and adolescent mental health	必修	講義	1	15	○				15	「子ども」から「おとな」へ、また家庭の中から社会の中へと成長していく不安定な時期において、自分は自分であるという感覚(アイデンティティ)を獲得していくための心のつながりを学ぶ。
	こころとからだのセルフケア	Self-care for mind and body	必修	講義	1	15					15	労働のあり方が変化していく時代のなか、こどもに対する支援を実践するにあたり、自己管理、セルフケアを行うことで自己を振り返る。自己の耐性を整えることができる。
試験対策	保育士筆記試験対策	Nursery teacher written exam preparation	必修	講義	1	30		15	15			保育士の国家試験に関する具体的な知識(保育士の業務内容や職業倫理、指針や、制度、こどもの発達成長過程など)を複合的に学び、対策をすることができる。
	保育士実技試験対策	Nursery teacher practical exam preparation	必修	講義	1	15			8	7		言葉の発達を理解し、その表現方法を実践を通して学ぶ。保育者として必要な音楽の技術を学ぶ。子どもの発達と身体表現に関する知識と技術を習得し、表現方法を身に付ける。
					47	810		180	195	210	225	総時間数 (810)